第556号
喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664

発行日　2015年７月16日
発行責任者　喬木村公民館長　原　美穂
編集責任者　公民館編集部長　仲田久志
印　刷　龍共印刷株式会社

第１回　平和学習会
「満蒙開拓平和記念館」見学

六月二十一日、今年最初の平和学習会として満蒙開拓平和記念館の見学を行いました。

記念館ができてから毎年実施してきて今年で三回目になります。

満蒙開拓団については青木先生の講演など、いろいろな視点から学習を積み重ねてきましたが、今回も開拓団として満洲へ渡った方のお話を聞き、展示を観たり説明をお聞きして改めてその歴史的な重さを実感し帰ってきました。

開拓団として満洲へ渡った方は全国でも長野県が最も多く、中でも飯田下伊那がその三割近くを占めています。

ただ、すべての市町村が開拓団を送り出したわけではなく、村長さんの判断で実施しなかった村もあります。村民の命を守るためとはいえ国策に従わなかったことは戦時下では大変な勇気が必要だったと思います。

貧困の中で満洲へ行けば広い土地が与えられ、村へは寄付金がもらえるとなれば、その決断も難しかったことが分かります。満洲へ渡った人はもちろん送り出した人も苦しんだわけです。

終戦の直前、ソ連軍が満州に侵攻した時、関東軍はすでに逃げて開拓団は置き去りにされました。それからの開拓団の苦しみと、その重い体験を背負って戦後七十年生きてきた辛さを思うと言葉がありませんでした。

このような悲惨な戦争を二度と起こさないよう戦後70年という節目に改めて考えてみたいと思いました。

（平和学習会実行委員会）

参加者　記念館前にて

文化財再発見　シリーズ㉑

無形文化財
「コト八日行事」その②
～喬木村の「事念仏」と「事の神送り」～

文化財保護委員　木下　俊佐

今回は、富田地区の「事の神送り」を取り上げます。さらに、次回は大和知、氏乗地区などのこれらの行事についても記す予定です。

「事の神送り」は「事念仏」同様竜東地区で昔から伝承されてきている無形文化財です。毎年新・旧暦いづれかの二月八日を中心に各地区で「事念仏」などの行事と併せて行なわれてきましたが、時代とともに、地区によっては廃止されたり、簡略化されてきています。その発祥は「事念仏」と同様定かではありませんが、村の古文書（文政時代）にもその記録が残っています。

富田地区では、この行事は「事念仏」（二月九日）の翌日に行なうのが慣わしになっています。各家庭では、当日までに「笹竹」などを用意し、「色紙を張り合わせた縦長紙」や「障子紙」に「御事之神送り」「御事の悪神送り」などと墨書し、さらにその下に「馬」の字を家族の人数分書いて、それに結わえて吊るし、さらに「洗米」、「ボンノクボの毛」などを中折紙に包んだオヒネリを結わえ付けて「笹竹の小旗」を作ります。当日の朝、それを振りまわしながら、悪病神を追払う言葉を唱えて、家の中を回ってから、その「旗」を道端に立てて置きます。それらは、富田上区にある諏訪神社上社から、富田辻を経て、富田下区の富田沢川の下流、下虎岩境の「篭端橋（かばた）」付近まで運ばれ焼却されます。

この行事を執り行うのは、当番制で、今年は上区の九常会の二組（組長小木曽重信）の人達が、二月十日の午後二時頃から軽トラックで集めて焼却し、悪霊神が取り付かないよう足早に逃げ帰り、直会を行い終了しました。

家や家族にとり付いた疫病神をムラの外に追い出し、無病息災を願う行事ですがこの行事を行なう家庭も昔に比べ少なくなりました。

※ボンノクボ　後頭部のくぼみ
（参考「上久堅の民俗」桜井弘人）

椋鳩十記念館・図書館　６月のおたのしみ会
夏のぬいぐるみおとまり会
おはなし会＆かんたん工作付

椋鳩十記念図書館では、六月十三日（土）におたのしみ会「夏のぬいぐるみおとまり会　おはなし会＆かんたん工作付き」を行いました。

アメリカで始まったこの取り組みは、ぬいぐるみを通して図書館の役割を知ってもらおうというものです。

椋図書館でも冬に続き二回目ということで、おとまり会も前回の倍以上、おはなし会と工作のみもあわせると四十五名の参加がありました。

はじめに職員によるおはなし会でペープサートや大型絵本を楽しんだ後、工作では色紙に思い思いの飾りを貼りつけて写真立てを作りました。ぬいぐるみおとまり会参加の人には、この写真立てにおとまりしたぬいぐるみたちの図書館での様子を撮った写真を貼ってお迎えの時にお渡ししました。

工作が終わったら「ぬいぐるみ」は図書館にお泊り。しばしのお別れです。

後日、迎えに来た子どもたちには写真とぬいぐるみの様子を伝えました。色々な想像をしたり、ぬいぐるみが選んだ絵本を借りていく子もいて、親子で会話が弾んでいるようでした。

夏に向けて図書館ではさらに楽しいイベントを企画しています。大人から子どもまで参加できるようになっていますので、ぜひ図書館へお越しください。

記念館、図書館の様子はフェイスブック（https://www.facebook.com/takagi.mukutosyo）で見ることができます。良ければのぞいてみてください。

あの時この時

「理解する」というのを英語では「understand」と言います。よく見ると「under」と「stand」からできているのが分かります。

理解するというのは人の下に立つことだというのです。

相手を理解するということはなかなか難しいことです。例えば子供を理解するといって、どうすれば理解することができるのでしょうか。

学校でも「児童理解」という言葉をよく使います。確かに生徒指導などいろいろな問題が起きてから事後対応するより、子供のことをよく知って事前に対応することができれば子供にとっても学校にとっても良いに決まっています。

そんなとき、子供を取り巻く環境や今までの記録を断片的に拾いながら、その時点でできる範囲での子供の姿をとらえようとします。

でも今考えると、「understand」できていたのか不安になります。

理解するために一番良いのは、やはり相手を目の前にしてその人の「under」にきちんと「stand」して話し合うことではないかと思います。

私たちは多くの場合、相手の目線に立って話をすることがなかなかできません。特に子供相手だと上から決めつけてものを言いがちになってしまいます。

山本周五郎は「人間は決してほかの人間に理解されることはないのだ」と書いていて、それが事実なのかもしれませんが、反面だれしも自分を理解してもらいたい、相手を理解したいと思っているのも事実なのだと思います。

現在のように人間関係が希薄になってきている時代に、相手を理解するというのは大変難しいことですが、日頃から「under」「stand」を心がけ、相手を理解する努力を続けなくてはいけないと思います。

再生紙 シュールコート70K を使用しています。

合唱劇 カネト 喬木公演 開催

梅雨の中、晴天に恵まれた六月二十日(土)、第一小学校ＰＴＡ、社会教育委員、公民館共催による合唱劇「カネト」の喬木公演が行われました。

第一小学校の授業参観日の後、児童、保護者、一般の方々で体育館がいっぱいの中、カネト合唱団による素晴らしい合唱劇を観賞することができました。

この合唱劇は、飯田線開通工事に命をかけた川村カネトの物語です。

川村カネトとは、明治二十六年北海道のアイヌの長の家に生まれ、小さい時から鉄道に憧れ、いじめや差別にも負けずに測量を学びました。

鉄道省の測量技手になったカネトは、函館本線、宗谷本線などの建設で力を発揮し、その高い技術を見込まれ、鉄道の中でも難しいと言われた三信鉄道（飯田線の前身）の天竜峡から三河川合間の鉄道建設の測量技師に迎えられました。

カネトはさらに仕事に対する情熱と力量を見込まれ、「天竜峡～門島」間の現場監督も引く受けることとなり、もろい岩盤や大量の出水対応やアイヌ出身であることでのいじめに耐えながら難工事を完成させます。

カネト合唱団、大人三十数名と子供十数名による七十五分間の合唱劇でしたが、カネトの生き方が、素晴らしい合唱と劇で表現され、あっという間に時間が過ぎる感じでした。

アイヌ出身であっても大きな仕事を成し遂げたカネトを通して、夢と希望、人間の誇りなど今生きる私たちにとって大切な内容を投げかけてくれました。また地域の歴史を知る機会ともなったのではないかと思います。

責任者の方から大勢の皆さんに集まっていただいたこと、子供たちの聞く態度が素晴らしかったことへの感謝の言葉もいただきました。ご協力ありがとうございました。

（教養部）

喬木第一小学校　体育館にて

カネトの娘「カナ」を演じた　原　沙彩那さん

たかぎ短歌会 水無月歌会詠草

ご開帳の元善光寺にひとり来て迎へし古希のお守りを購ふ　知久　美子

ふりそそぐ藤の花房見あぐるも継ぐ人なきとふ阿島大藤　関島　春子

人の波改装なりし姫路城真白に映える天守を仰ぐ　桐原　邦夫

農守る卒寿の女はひたすらに時を気にせず今日も草引く　小椋　りよ

はれの日の若き二人を眺めつつ四十年前の記憶をたぐる　市瀬　准子

新緑が目に目映ける里山に雉がひと声残し飛び立つ　羽生　俊彦

突然に友の訃報を聞きし今日ひたすら思ふ在りし面影　岩間　幸子

ふっくらと蕗の香立ちて煮え上がる姑が健康なら褒めらるる味　内山　和子

六匹の雛を守りて餌運ぶ軒の燕に元気をもらう　木下　寿子

友からの貴重な胡桃でたれ作り嫁さんにぎり息子が五平餅焼く　田中　妙子

新緑の木曽路の匂ふ風載せて権兵衛峠のトンネル抜ける　元島　康子

白雲の流れに泳ぐ鯉のぼり見上げる園児等声の弾めり　大村　初見

鈴蘭の可憐な姿が涼をよぶ梅雨に入りたる今朝は更なり　原　健彦

ゆくりなくこの峡の田に寄り添ひて鴨の番ひの啄ばむを見き　福澤　亀人

こども学遊館 子育てひろば 「下沢先生絵本の会」「じぃじ・ばぁばの日」 開催

六月二十六日(金)こども学遊館子育てひろばでは、元上郷図書館長の下沢洋子先生をお招きして、絵本の読み聞かせを行いました。

この日は「じぃじ・ばぁばの日」として、普段はなかなか来られないおじいちゃん・おばあちゃんの参加も呼びかけました。

当日は、総勢三十二名の皆さまにお集まりいただき、にぎやかな会となりました。

子育て中のお母さんの呼びかけで、伊那市から参加してくださったおじいちゃん、おばあちゃんもいました。

参加者からは「下沢先生の読み聞かせの世界に引き込まれて感激した。」「お年寄りにも心地よい読み聞かせだった。」「手遊びやわらべうたが懐かしく、孫と一緒に楽しめた。」と嬉しい感想がありました。

読み聞かせの後は、ホットケーキでお茶会をし、和やかな締めくくりとなりました。

今年度より、「下沢先生絵本の会」は、どなたでもご参加いただけるようになりました。また、「下沢先生絵本の会」と併せて「じぃじ・ばぁばの日」も開催しています。皆さまお誘い合わせの上お越しください。お待ちしています。

《次回以降の予定》
九月十七日(木)
十一月五日(木)
二月十六日(火)

平成二十七年度分館対抗 女子ソフトバレーボール大会

七月五日(日)、分館対抗女子ソフトバレーボール大会が中央社会体育館と中学校体育館を会場に開催されました。

十三分館から二十チームが参加して下さり、各分館が練習の成果を発揮し、白熱した試合が繰り広げられ、若い人から年輩の方まで一緒になって楽しい大会となりました。

結果は次のとおりです。

優勝　南Ｂ（中央社会体育館会場）

優勝　富田（中学校体育館会場）

決勝戦・３位決定戦結果表

中央社会体育館会場

優　勝：南Ｂ
準優勝：伊久間Ｂ
３　位：田上川

決勝戦：伊久間Ｂ（Ａコート1位） 0 － 2 南Ｂ（Ｂコート1位）
３位決定戦：寺の前（Ａコート2位） 1 － 2 田上川（Ｂコート2位）

中学校体育館会場

優　勝：富田
準優勝：伊久間Ａ
３　位：北Ａ

決勝戦：富田（Ｃコート1位） 2 － 0 伊久間Ａ（Ｄコート1位）
３位決定戦：北Ａ（Ｃコート2位） 2 － 0 町Ｂ（Ｄコート2位）

【お知らせ】 盆踊り練習会開催

公民館社会部では、ふるさと祭りでより多くの方に盆踊りを楽しんでいただけるよう、今年も盆踊り練習会を開催します。

日時　八月九日(日)
　　午後七時～
場所　福祉センター
　　多目的ホール

初めての方も大歓迎!!
どうぞお気軽にご参加ください。

編集後記

今年も半年が過ぎた、という何気ない会話中に、「大人になって成長しなくなった」という言葉が出てきてドキリとした。

確かに身体的成長はとっくに止まっているし、内面的にも日々淡々と生活していると刺激も少ないので成長しているという感覚はない。しかも自分の年齢の感覚すらあいまいになっている。

別になまけているわけではないが、何もしなくても季節は移り変わっていく。

「成長」とまではいかなくとも自分が今どの道を歩いているのかぐらいは感じられるよう、残り半年は…と少し思ったひと時だった。